DēLonghi

取扱説明書
保証書付

デロンギ
ドリップコーヒーメーカー 家庭用
型式番号 **CM200J**

もくじ

Made in China

このたびは、デロンギ ドリップコーヒーメーカー CM200J をお求めいただき、まことにありがとうございました。
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、保証書（裏表紙）とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いによって、「警告」「注意」の２つに分け、明示しています。

警告 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

注意 「軽傷を負う可能性、または物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

4. 各注意事項には、「禁止」、「指示」を促す絵表示が付いています。

図の説明

禁止　してはいけないことを示します。

指示　必ずしなければいけないことを示します。

⚠ 警告

禁止

● **抽出中に本体ふたを開けたり、触ったりしない**
（やけどの原因）

● **抽出中に蒸気口に触ったり、手や顔を近づけたりしない**
（やけどの原因）

⚠ 警告

禁止

● **保温板にガラスジャグがない状態で使わない**
（やけどの原因）

⚠ 注意

禁止

● **抽出中はガラスジャグを動かさない**
（やけどの原因）

● **ガラスジャグを載せたまま本体を動かさない**
（けが・やけどの原因）

⚠ 警告

禁止

● **分解・修理・改造しない**
（感電・けが・火災・ショートの原因）

● **子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない**
（感電・けがの原因）

指示

● **故障・異常時には、すぐに使用を中止する**
（火災・感電の原因）

電源を切って電源プラグを抜き、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパンサービスセンター（11 ページ参照）にご相談ください。

〈異常・故障例〉
・煙が出たり、変なにおいがしたりする
・電源コード・電源プラグが異常に熱い
・電源コード・電源プラグが変形・破損した
・本体が落下したり、衝撃を受けたりした
・この取扱説明書に従って使用しても、正常に機能しない

⚠ 注意

禁止

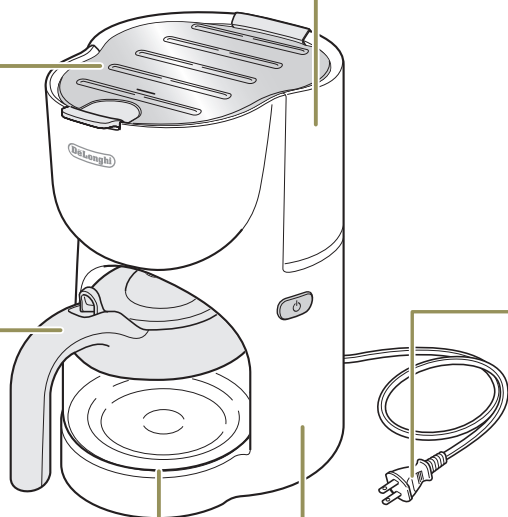
● **変形や破損など、異常があるときは使わない**
（感電の原因）

指示

● **お手入れは、電源を切って電源プラグを抜き、本体が冷えてから行う**
（やけどの原因）

⚠ 注意

禁 止

- **抽出後、すぐにタンクに水を入れない**
  （熱湯・蒸気によるやけどの原因）

⚠ 注意

禁 止

- **電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは、保温板を触らない**
  （やけどの原因）
- **保温板に電源コードを接触させない**
  （火災の原因）

⚠ 警告

禁 止

- **本体は水につけたり水をかけたりしない**
  （やけど・感電・けがの原因）

⚠ 注意

禁 止

- **不安定な場所や熱に弱い敷物などの上で使わない**
  （やけど・火災の原因）
- **壁や家具の近くで使わない**
  （蒸気や熱による壁や家具の変色・変形の原因）

⚠ 警告

禁 止

- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
  （感電・けがの原因）
- **電源プラグ・電源コードが破損した場合や、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しない**
  （火災・感電の原因）
- **電源プラグ・電源コードを破損させない**
  （火災・感電の原因）
  - ・傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
  - ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
  - ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
  - ・高温部に近づけたり、水につけたり、水をかけたりしない

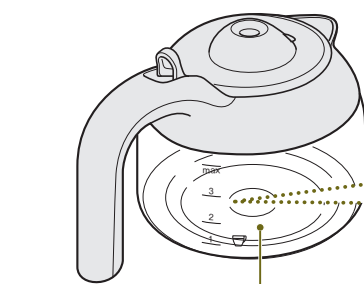
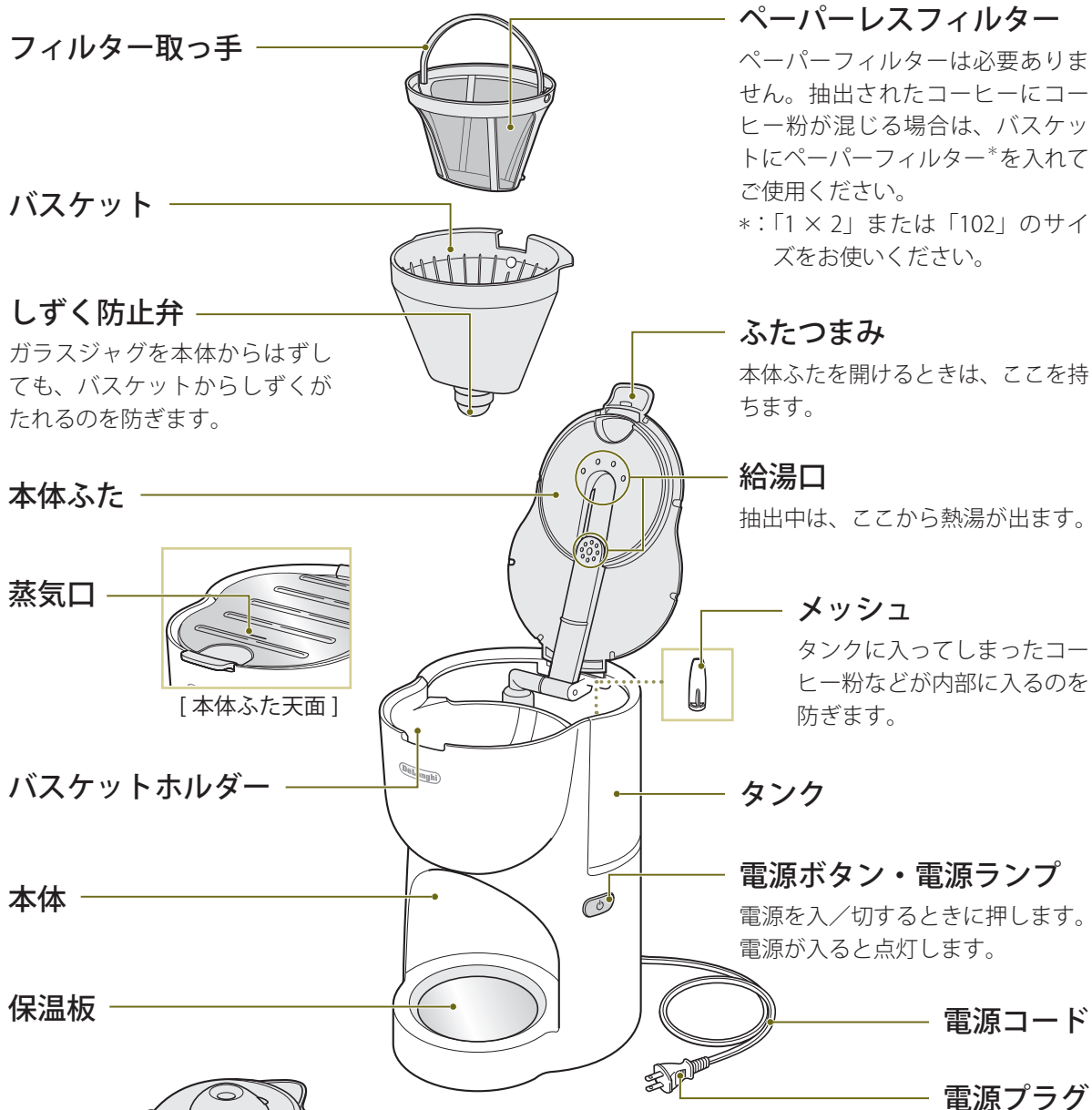
指 示

- **定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う**
  （火災の原因）
  延長コードを使う場合も、定格 15A 以上のものを単独で使ってください。
- **電源プラグのせん刃や取り付け面にゴミやホコリが付いた場合は、電源プラグを抜き、ゴミやホコリを取る**
  （火災・感電の原因）
- **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
  （火災・感電の原因）

⚠ 注意

指 示

- **使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
  （火災・感電の原因）
- **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持つ**
  （火災・感電の原因）

各部のなまえ

フィルター取っ手
ペーパーレスフィルター
ペーパーフィルターは必要ありません。抽出されたコーヒーにコーヒー粉が混じる場合は、バスケットにペーパーフィルター*を入れてご使用ください。
*：「1 × 2」または「102」のサイズをお使いください。
バスケット
しずく防止弁
ガラスジャグを本体からはずしても、バスケットからしずくがたれるのを防ぎます。
ふたつまみ
本体ふたを開けるときは、ここを持ちます。
本体ふた
給湯口
抽出中は、ここから熱湯が出ます。
蒸気口
[本体ふた天面]
メッシュ
タンクに入ってしまったコーヒー粉などが内部に入るのを防ぎます。
バスケットホルダー
タンク
電源ボタン・電源ランプ
電源を入／切するときに押します。電源が入ると点灯します。
本体
保温板
電源コード
電源プラグ
ガラスジャグ
ガラスジャグのふたは取りはずせます。
目盛は 2 種類あります。
給水目盛
max
3
2
1
でき上がり目盛
max
3
2
1
付属品
計量スプーン
すりきり 1 杯でコーヒー粉約 7g です。

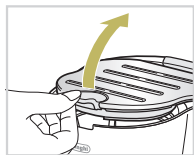
使う前にお読みください

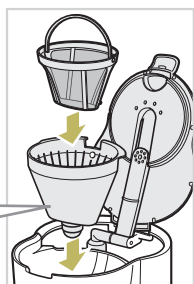
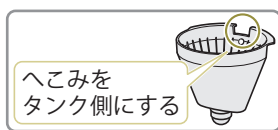
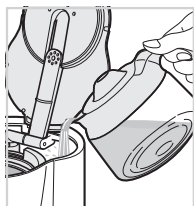
使用上のご注意とお願い

- 業務用として使わないでください。（故障の原因）
- 次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。（感電の原因）
  - ・タンクに水を入れる前
  - ・使い終わった後
  - ・お手入れの前
- タンクに水以外（お湯・牛乳など）を入れないでください。（故障やふきこぼれの原因）
- 電源を入れる前に、タンクに水が入っていることを確認してください。（故障の原因）
- ガラスジャグを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、傷つけたり、硬いものにぶつけたりしないでください。（破損の原因）
- 付属のガラスジャグ以外は使わないでください。（故障の原因）
- ガラスジャグをお買い求めの場合は、デロンギ・ジャパンサービスセンター（11 ページ参照）にご相談ください。

初めて使う前に

初めて使うときや長期間使わなかったときは､コーヒー粉を入れずに水だけで2回抽出してください。

1 ふたつまみを持って本体ふたを開ける

2 ペーパーレスフィルター、バスケット、ガラスジャグ、計量スプーンを取り出して洗う（8 ページ「お手入れする」）

3 バスケットにペーパーレスフィルターを入れ、バスケットホルダーに取り付ける

4 ガラスジャグの給水目盛 の「max」まで入れた水をタンクにそそぎ、本体ふたを閉じる

5 ガラスジャグを保温板の上に載せる

- ふたの中央の穴と、しずく防止弁が接していることを確認してください。

6 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す

- 電源ランプが点灯し、抽出が始まります。
- 抽出が終わるまでガラスジャグを動かさないでください。

7 抽出が終わったら電源ボタンを押して電源を切り、ガラスジャグの湯を捨て電源プラグを抜く

8 5 分以上たってから手順 **4** ～ **7** をもう一度行う

コーヒーをいれる

中～粗挽きのコーヒー粉をお使いください。

1 バスケットにペーパーレスフィルターを入れ、バスケットホルダーに取り付ける

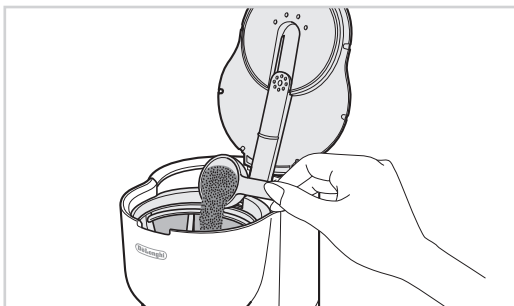
● ペーパーフィルターを使う場合は、ペーパーレスフィルターは使いません。バスケットにペーパーフィルターを入れてください。

2 コーヒー粉をペーパーレスフィルターに入れる

● 計量スプーンすりきり 1 杯（約 7g）が、カップ 1 杯分のコーヒー抽出に適した量（目安）です。

［カップ数とコーヒー粉の量の目安］

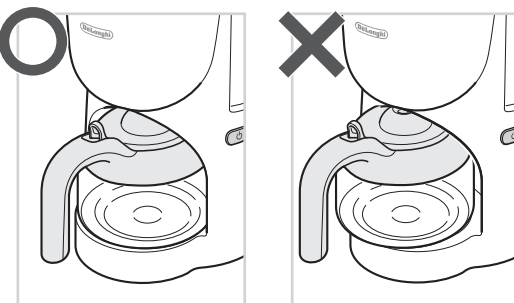
カップ数	コーヒー粉の量* 計量スプーン（すりきり）
2 カップ（約 250 ml）	2 杯（約 14g）
3 カップ（約 375 ml）	3 杯（約 21g）
4 カップ（約 500 ml）	4 杯（約 28g）

＊：計量スプーン 4 杯以上入れないでください。

3 ガラスジャグに入れた水をタンクにそそぎ、本体ふたを閉じる

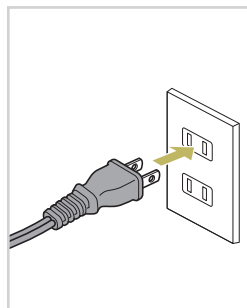
● ガラスジャグの給水目盛 の「max」以上の水を、タンクに入れないでください。水があふれることがあります。

● 湯は入れないでください。故障やふきこぼれの原因となります。

4 ガラスジャグを保温板の上に載せる

● ふたの中央の穴と、しずく防止弁が接していることを確認してください。

5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す

［カップ数とでき上がり時間の目安］

カップ数	でき上がり時間
2カップ（約250 ml）	約3分
3カップ（約375 ml）	約4分
4カップ（約500 ml）	約5分

6 抽出が終わったら、コーヒーをカップにそそぐ

● 抽出後は自動で保温されます。

7 ガラスジャグがからになった場合や保温をしない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

続けてコーヒーをいれる場合は

手順 7 の後、5分以上待ってから「コーヒーをいれる」（6ページ）の手順でいれる

● すぐにタンクに水を入れると勢いよく蒸気が出て、やけどの原因になります。

途中で抽出を止める場合は

電源ボタンを押して電源を切る

● 抽出が完全に止まってから、ガラスジャグをはずしてください。

コーヒーをおいしくいただくために

● **なるべく 30 分以内に飲みましょう**
長時間保温板に載せたままにすると、風味が悪くなります。

● **新しいコーヒー豆を使いましょう**
2～3週間程度で使いきれる量を買い、開封後は密閉できる容器に入れて冷暗所で保存します。

● **お好みのコーヒー豆を見つけましょう**
種類や焙煎度合によって、コーヒー豆にはそれぞれ特徴があります。酸味や苦味、コク、香りなどのお好みをお店の人に伝えて、アドバイスをもらうのもよいでしょう。

お手入れする

電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷めてからお手入れしてください。

できないこと

- 本体・電源コード・電源プラグの水洗い禁止
  （火災・感電などの原因）

- 熱湯禁止
  （変形する原因）

- ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤・漂白剤の使用禁止
  （傷が付いたり、変色したりする原因）

- たわし類・メラミンスポンジの使用禁止
  （傷が付く原因）

- 食器洗い機、食器乾燥機の使用禁止
  （変形する原因）

ガラスジャグ、バスケット、ペーパーレスフィルター、計量スプーン

1. スポンジと台所用中性洗剤で洗い、水ですすぐ

2. 乾いた布巾で水分を拭き取り、乾燥させる
   - ペーパーレスフィルターが目詰まりした場合は、少量の台所用中性洗剤を入れたぬるま湯につけてから、洗ってください。

本体

水にぬらしてよく絞った布巾で拭いた後、乾いた布巾で拭く

抽出に時間がかかるようになったら

水に含まれる石灰成分が内部に付着し、湯が出にくくなることがあります。
抽出が遅くなった場合、または半年に１回程度、食酢を使用して掃除してください。

食酢洗浄のしかた

1. ペーパーレスフィルター、バスケットを取り付ける
2. ガラスジャグの給水目盛 の「max」まで入れた水をタンクにそそぐ
3. 食酢大さじ１杯分をタンクの水に加え、本体ふたを閉じる
4. ガラスジャグを保温板の上に載せる
5. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す
6. 抽出が終わったら電源を切り、ガラスジャグの湯を捨てる
7. ５分以上たってから、水だけで２回以上抽出する
   - 食酢のにおいが消えるまで抽出を繰り返してください。

故障かな？

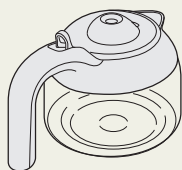
症状	考えられる原因	対処のしかた
電源ボタンを押しても動かない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。（7 ページ）
湯が出ない	タンクに水が入っていない。	タンクに水を入れてください。（6 ページ）
	本体ふたが開いている。	本体ふたを閉めてください。
抽出に時間がかかる	石灰成分が付いている。	食酢洗浄をしてください。（8 ページ）
コーヒーにコーヒー粉が混ざる	細挽きのコーヒー粉を使っている。	中〜粗挽きのコーヒー粉でいれてください。 気になる場合は、ペーパーフィルターをお使いください。
コーヒーがガラスジャグからあふれる	ガラスジャグの給水目盛の「max」より多い水をタンクに入れている。	給水目盛の「max」を超えた量の水を入れないでください。
コーヒーがフィルターからあふれる	バスケットの向きが違う。	正しい向きでバスケットを取り付けてください。（6 ページ）
	コーヒー粉を入れすぎている。	計量スプーンのすりきり 4 杯以上入れないでください。

仕様

製品名	デロンギ ドリップコーヒーメーカー
型式番号	CM200J
電源	交流 100V 50Hz-60Hz 共用
消費電力	650W
容量	最大 500ml
外形寸法	幅 172 ×奥行 195 ×高さ 245（mm）
質量	1.5kg
付属品	計量スプーン

別売品

以下の部品は、お求めの販売店または当社オンラインショップでご購入いただけます。

■ガラスジャグ

型式番号：CM200-GJ

■ペーパーレスフィルター

型式番号：CM200-PF

デロンギ・ジャパン オンラインショップ　URL ▶ http://shop-casa-delonghi.com/

この製品は欧州 RoHS 指令に適合した製品です。

欧州 RoHS 指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

アフターサービスについて

1）使用中に異常（★）が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、9ページ「故障かな？」を調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- **使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる**
- **本体に水などの液体をこぼした**
- **電源コード、電源プラグが変形／破損している**
- **本体に強い衝撃を与えた**
- **取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない**

2）**万一、故障／損傷した場合は**

保証書に記載されている販売店に、**1. お求め時期　2. 製品名と型式番号　3. 故障の状況**　を連絡のうえ、修理を依頼してください。

なお、当社サービスセンターに依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

3）保証期間中（1年）は、保証書に記載されているものについては、無料で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有料で修理いたします。

4）**補修用性能部品の保有期間について**

当社では、このドリップコーヒーメーカーの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に5年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5）**まごころ点検のおすすめ**

長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、当社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日	年	月	日

6）**デロンギ再資源化システムについて**

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：同封されている再資源化ステッカーを本体に貼り、製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 17:00）

コールセンター　**TEL. 0120-804-280 ／ FAX. 045-450-3291**

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9　安田倉庫（株）内 4 号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）　**http://support.delonghi.co.jp**

DCI-110901

保証書

ご販売店様へ、※印欄は必ずご記入ください。 **持込修理**

製品名：ドリップコーヒーメーカー		型式番号：CM200J	
お客様	ご氏名：　　　　様	TEL：　－　－	
	ご住所：〒		
販売店	※店名・住所：　　　　印		
※お買い上げ日：　年　月　日		保証期間：**お買い上げ日より1年間**	保証対象：**本体**

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社サービスセンターに直接ご相談ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
   イ．本書のご提示がない場合
   ロ．使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
   ハ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷
   ニ．火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
   ホ．一般家庭用以外（例えば業務用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
   ヘ．本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
   ト．消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

●この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパンサービスセンターにお問い合わせください。

●補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■修理メモ

…………………………………………

…………………………………………

デロンギ・ジャパン株式会社
サービスセンター
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9
安田倉庫（株）内 4 号ビル
TEL. 0120-804-280

W-1107K

DēLonghi デロンギ・ジャパン株式会社 サービスセンター
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9　安田倉庫（株）内 4 号ビル
ホームページ　**http://www.delonghi.co.jp**

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

再生紙を使用しています。